

社団法人 地盤工学会  
**基 準 部 会**  
 平成 20 年度第 4 回 議事録 (案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 20 年 10 月 24 日 (金) 14:00~17:00 予定					場所	地盤工学会 会議室	
部長	北詰 昌樹	○	★理事	江藤 芳武	○	幹事	仙頭 紀明	○
★部員	伊貝 聡司	○	★部員	長田 昌彦	×	部員	川崎 了	×
部員	岸田 潔	×	部員	関野 武志	△	部員	豊田 浩史	○
部員	西岡 英俊	○	部員	平井 貴雄	○	部員	利藤 房男	○
オブザーバー	寺本 邦一	○						

★：H20 年度新任      ○：出席予定      ☆：出席（電子会議）      ◎：代理出席      ×：欠席予定      △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-20.4.0	平成 20 年度第 3 回基準部会議事録案
資料-20.4.1	<a href="#">室内試験・「土質試験 基本と手引き」改訂 WG の構成案</a>
資料-20.4.2	<a href="#">地盤調査・WG12「貫入式地盤硬度計基準化」委員追加理由書及びメンバー表</a>
資料-20.4.3	地盤調査・WG4 (サウンディング) メンバー表
資料-20.4.4	H20 第 2 回 地盤工学表記法委員会 WG1&WG2 議事内容メモ (案)
資料-20.4.5	新設 WG 設立趣意書「岩石および岩盤不連続面の動的繰返し強度・変形試験方法基準化検討ワーキンググループ」
資料-20.4.6	「土質試験 基本と手引き」増刷検討資料
資料-20.4.7	新ホームページ試行版に関する確認状況報告と審議に関する資料
資料-20.4.8	規格・基準の英訳に関する資料
資料-20.4.9	理事会 (9 月 26 日開催) 議題書
資料-20.4.10	室内試験規格・基準委員会報告資料 [10/3 開催議事録案]
資料-20.4.11	会員からの質問への対応 (室内試験対応)
資料-20.3.12	「初期地圧関連 2 基準」の英訳修正対応表及び修正原稿
資料-20.4.13	「初期地圧関連 2 基準」の修正対応表及び修正原稿
資料-20.4.14	「傾斜計による岩盤内変位測定方法」解説及び英訳の修正対応表及び修正原稿
資料-20.4.15	会員からの質問への対応 (地盤調査対応)
資料-20.4.16	
別添資料-20.4.1	

## 審議事項

### 1. 前回議事録の確認

(資料-20.4.0)

原案通り承認された。

### 2. 全体関係

(1) 平成 20 年度決算見込みについて

(別添資料-20.4.1)

(2) 平成 21 年度予算案について

一般会計の予算と決算の収支差額をできるだけ出さないように後期見込を見直すものとする。昨今の情勢により受託業務収入が減っている場合もあるが、上記の方針は厳守するものとする。今後の活動に支障をきたすような場合には、当該委員会から善後策を部会に上申し議論をするものとする。

## 理事会報告 3. 委員等の異動

(1) 委員会の構成

①室内試験規格・基準委員会「土質試験 基本と手引き」改訂 WG

(資料-20.4.1)

上記 WG の設置を承認した。

(2) 交代

①地盤設計・施工基準委員会

・吉川 正 委員 (鹿島建設 (株) 土木設計本部) → 田中 耕一 氏 (同社)

・理由: 任期満了のため

上記委員の交代を承認した。

(3) 追加

①地盤調査規格・基準委員会 WG12「貫入式地盤硬度計基準化」(10/1 メール審議・承認)

(資料-20.4.2)

・追加: 酒匂 一成 氏 (立命館大学)

・理由: 添付書類を参照

上記委員の追加を承認した。

②地盤調査規格・基準委員会 WG4 (サウンディング) (10/1 メール審議・承認)

(資料-20.4.3)

(1) 工藤 康雅 氏 (北海道士質コンサルタント株式会社)

(2) 林 宏親 氏 (独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所)

・理由: 本ワーキングで、ダッチコーン貫入試験の JIS の改正を検討することになり、検討に必要なメンバー 2 名を加えたい。

(3) 片山 浩明 氏 (全国地質調査業連合会)

・理由: 標準貫入試験の JIS 改正に伴い、全国地質調査業連合会 (全地連) の委員が不可欠である。全地連は片山氏を推薦しているため、委員に追加したい。

上記委員の追加を承認した。

③地盤設計・施工基準委員会

・本田 道識 氏 ((株) 日建設計シビル技術開発部)

・理由: 欠員であった WG1 (土構造物 WG 幹事) からの委員推薦

上記委員の追加を承認した。

(4) 委員の退任

①ISO 国内委員会

・宮島 昌克 委員 (金沢大学)

・理由: 理事として ISO 国内委員会に参画。理事を退任されたので、併せて ISO 国内委員会も退任。

上記委員の退任を承認した。

#### 4. ISO国内委員会 関係

##### (1) 海外派遣

###### ① ISO/TC190 総会

期 間：2008年11月17日～11月21日

訪問国：オランダ デルフト, NEN - Nederlands Normalisatie-insituut (NEN)

派遣者：石川委員, 坂井委員, 浅田委員, 中島委員 (派遣日程 11/16～23),

和田委員 (同 11/16～22), 野上委員 (同 11/16～20), 王委員 (同 11/15～23)

費 用：中島委員と王委員の2名は土壤環境センターが旅費を負担。地盤工学会負担分は2名が経済産業省受託事業での対応。ほか3名はISO対応活動費からの支出。

理 由：年1回開催されるTC190の総会で、今年は23回目となる。我が国がconvenorを務めるSC3/WG10等、平行してSCおよびWGの会議が約30開催される。油汚染のリスクアセスメントに関して討議が行われるが、我が国のガイドラインとも関連の深い規格化であり、整合性を保つように参画する。

上記の海外派遣は保留とする。

#### 5. 地盤工学表記法委員会 関係

##### (1) 「用語対訳」の取扱いについて (継続)

(資料-20.4.4)

用語対訳の無償公開は一旦凍結し、英訳不明用語の精度を高める方針が認められた。用語対訳の精度を向上させるために、会員に意見募集を行う。意見募集の詳細については次回部会で議論する。

#### 6. 室内試験規格・基準委員会 関係

##### (1) 新規の基準化検討WGの設置

①岩石および岩盤不連続面の動的繰返し強度・変形試験方法基準化検討ワーキンググループ

(資料-20.4.5)

上記WGの設置を承認した。

#### 7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

特に無し。

#### 8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

##### (1) 設計・施工技術マニュアルの原稿について

(別添資料-20.4.2)

・『打ち戻し施工によるサンドコンパクションパイル工法 設計・施工マニュアル』

上記マニュアルを承認した。なお、電子ファイルを部員に送付し、詳細な内容に関して意見がある場合は平井委員に連絡する。

#### 9. 販売促進WG

特に無し。

#### 10. 基準部所管刊行物

##### (1) 「土質試験－基本と手引－」の増刷 (9/9 メール審議・承認)

(資料-20.4.6)

・印刷部数案：6,000部

・意見：年間販売部数がH17年；7778, H18年；6253, H19年；5830と減少しており、今年度9月時点でもH18年は2262, H19年が2573, H20年は2020と確実に減少しています。

・回答：H20年9月の数量【141】は、9月7日時点の売上げ数であり、9月全体では前年度程度になるかと予測しております。また、本年度は前年度と同数もしくは若干少なくなる見込で、増刷分の販売は次々年度1月までと考え、それを越えない値の千部単位で丸めた値を印刷部数分案としました。

(H20.9～H22.1の販売見込み) = (H19.9～H20.8 + H19.9～H20.1) = (5,755 + 885) = 6,640

上記増刷を承認した。

## 11. その他

### (1) 地盤工学会ホームページの改定について

(資料-20.4.7)

基準部ホームページについて以下の要望があった。これらの要望を取りまとめ広報委員会に報告する(西岡委員)。

トップページに学会基準の項目を設けていただき、そこから規格・基準の公示や正誤表に関する情報がすぐに探せるようにしていただきたい。細則は基準部だけでなく他の部のものも掲載してはどうかとの意見があった。データシート関連の情報は基準部のページにもリンクを設けて欲しい。

### (2) 規格・基準の英訳について

(資料-20.4.8)

規格・基準の英訳はガイドライン(JIS Z 8301:2008、ISO・IEC 専門業務用指針 第2部)のルールに従うものとする。この旨を関連委員会内で周知するとともに、執筆要綱にも明記する(表記法委員会)。

## 報告事項

### 1. 理事会(9月26日)開催報告

(資料-20.4.9)

### 2. 全体関係

特に無し。

### 3. 部会・委員会関係

#### (1) ISO 国内委員会

##### ①ISO 国内委員会開催報告

##### (1) TC182 関係:

- 地下水調査法に関しては、CEN でまとめられたものが ISO で審査され、その内容を再び CEN で議論する(今回は、日本からは欠席)。基準部の地下水 WG で情報が必要であれば、お知らせします。
- グランドアンカー:2月の会議で継続審議となったものがあったが、議論は進んでいない。施工関連の基準と併せて議論が行われる可能性がある。

##### (2) TC190 関係:

- SC3/WG10(地盤工学会がコンビナー)は、順調に活動を進めている。
- 国内のミラーワーキングの活動も順調に行われており、経済産業省の中間ヒアリングも無事終了した。

##### (3) TC221 関係:

- カナダで開催の年次総会が延期となり、その後、連絡なし。

##### ②平成20年度ISO対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)	報告書の有無	(納期)	
・沿岸開発技術研究センター	100万円	○	2/20	
・土木学会		○		
・土木学会(上期)		×		
・土木学会(下期,英訳)		×		
・土木学会(下期,旅費)		×		
・日本規格協会(回答作成)	50万円 ※	○	2/末	
・日本規格協会(重点TC旅費)	60万円 ※	○	実施の都度	
・経済産業省	500万円 ※	○	3/16	
計	710万円	※:上限		

### (2) 地盤工学表記法委員会

#### ①地盤工学表記法委員会開催報告

(資料-20.4.4)

平成20年度第2回WG1&WG2議事内容メモをもとに活動報告があった。

### (3) 室内試験規格・基準委員会

①室内試験規格・基準委員会開催報告 (資料-20.4.10)

平成 20 年度第 4 回委員会議事録をもとに活動報告があった。

②会員からの質問 (3 件) (資料-20.4.11)

突固めによる土の締固め試験 (2 件) とジオテキスタイル試験 (1 件) に関する質問と回答の報告があった。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

①地盤調査規格・基準委員会開催報告

②初期地圧関連

(1) 英文の基準、修正対応表 (資料-20.4.12)

(2) 日本文の基準、修正対応表 (資料-20.4.13)

上記基準の修正対応の報告があった。

③傾斜計による岩盤内変位測定方法関連 (資料-20.4.14)

上記基準の解説と英訳の修正対応の報告があった。

②会員からの質問 (1 件) (資料-20.4.15)

標準貫入試験、RI 計器の較正式、砂置換による土の密度試験、地中の水平変位測定、簡易動的コーン貫入試験に関する質問と回答の報告があった。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特に無し。

(6) 販売促進 WG

特に無し。

#### 4. 日本工業標準調査会 土木部会の開催報告

特に無し。

#### ●H20年度 基準部関係委員会開催状況

委 員 会 名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	北詰 昌樹	4/21, 7/18,9/ 4, <b>10/24</b>
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応	木幡 行宏 (代行: 木幡) 平田 健正	6/27,9/26, <b>12/12</b> 6/27,9/26, <b>12/12</b> 4/17WG10,5/ 9WG10,6/27WG10,8/ 5 WG10,9/22 WG10,10/7 WG10, <b>11/ 5 WG10 幹事会,11/10 WG10,</b> <b>12/ 4 WG10</b>
・WG3 ISO/TC221 対応	三木 博史	7/ 9(広島)
室内試験規格・基準委員会	後藤 聡	4/11,7/ 11(広島),8/ 1 幹事会,8/26-27 10/ 3, <b>11/13</b>
・WG1 物理特性 (土と岩)	古河 幸雄	<b>11/ 6</b>
・WG2 化学特性 (H17 化学試験)	川地 武	10/ 7, 10/27
・WG3 透水・圧密特性	大島 昭彦	4/ 4
・WG4 力学特性 (土と岩)	龍岡 文夫	7/ 11(広島)
・WG5 安定化・締固め特性	北詰 昌樹	6/13(関西),10/3
・WG6 ジオシンセティックス	木幡 行宏	4/16, <b>10/30</b>
・WG8 特殊土	三浦 清一	7/ 10(広島)
・WG9 ベンダーエレメント試験基準化検討	山下 聡	7/ 9(広島)

地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 ・WG2 ボーリング・サンプリング ・WG3 地下水 ・WG4 サウンディング ・WG5 原位置載荷 ・WG6 現場密度 ・WG7 現地計測 ・WG8 環境化学分析(透気試験) ・WG9 傾斜計による岩盤内変位測定方法基準化 ・WG10 初期地圧の測定方法基準化  ・WG11 スウェーデン式サウンディング試験方法改正 ・WG12 貫入式地盤硬度計基準化	三村 衛 松島 潤 木村 英雄 井尻 裕二 田中 洋行 谷 和夫 小早川博亮 浅井 健一 宮口 新治 亀村 勝美 石田 毅  藤井 衛 北村 良介	6/11,7/28WG,8/28,9/25WG,12/3  9/9  6/25 4/18, 6/27,9/9,10/14,11/11 幹事会, <b>12/19</b> 5/9, 6/13,7/23,9/8,10/7,11/14 7/10(広島),10/9
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明	10/7, (12/9 地山補強土関係)  4/2, 5/13,6/20, 7/9(広島),9/9,11/7 5/8,6/24,,9/9,9/16,12/15 5/21,10/8
地盤工学表記法 ・WG1 用語および用語の定義 ・WG2 データシートおよび情報化	岸田 隆夫 岸田 隆夫 (上原久典)	5/16,10/22

## 5. その他

- 1) 理事会（平成20年 10月31日（金）開催予定）への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会（平成20年 11月14日（金）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日

- ・ 20年度第5回：平成20年11月14日（金）10:00時～  
（対応理事会 H20. 11.28 or 1.30）
- ・ 20年度第6回：平成21年1月21日（水）14:00時～  
（対応理事会 H21. 1.30 or 3.18）

☆ 平成20年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

◎理事会

○ 運営連絡会議

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| ① 4月25日（金）              |               |
| ② 5月16日（金）              |               |
| ③ 5月29日（木）総会/理事会        | ① 6月27日（金）    |
| ④ 7月31日（木）              |               |
| ⑤ 9月26日（金）              |               |
| ⑥ 10月31日（金）（運営連絡会議から変更） |               |
| ⑥→⑦ 11月28日（金）           | ③→② 12月19日（金） |
| ⑦→⑧ H20年1月30日（金）        | ④→③ 2月27日（金）  |
| ⑧→⑨ 3月18日（水）            |               |

- 
- |                    |  |
|--------------------|--|
| ⑨→⑩ 4月24日（金）       |  |
| ⑩→⑪ 5月15日（金）       |  |
| ⑪→⑫ 5月28日（木）総会/理事会 |  |